

第1回 資源循環自治体フォーラム

～地方創生 2.0 に向けた官民の連携強化～

第二部 第3セッション 資料集



令和 7 年 9 月 12 日

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

環境省・環境省近畿地方環境事務所

大阪府

3R・資源循環推進フォーラム

第二部プログラム (@4F・5F 各会議室)

(以下敬称略)

◆ 第1セッション (13:45～14:45) / 第2セッション (14:55～15:55)

(1)使用済製品のリユースの推進 @5F 視聴覚スタジオ

<テーマ内容>

- 事業者等と連携し、市民がモノを捨てる前にリユースできるような仕組みづくりについて
- 入学・卒業、引っ越し、生前整理・遺品整理時等のライフステージに応じて出てくる不用品のリユースを推進するにはどうしたらよいか

<プログラム>

- ・「環境省におけるリユースの取組について」 13:45～13:55 / 14:55～15:05
環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 齋藤 那奈
- ・「リユース業界団体との連携による 13:55～14:05 / 15:05～15:15
循環型まちづくりの推進」
東京都稲城市 都市環境整備部 生活環境課 ごみ・リサイクル係 遠山 幸樹
- ・「循環型社会の実現 リユースの促進による 14:05～14:15 / 15:15～15:25
ごみ減量事例のご紹介」
株式会社ジモティー ジモスポ事業開発部 事業開発G マネージャー 鑛 太一
- ・意見交換、全体共有 14:15～14:40 / 15:25～15:50
- ・まとめ 14:40～14:45 / 15:50～15:55

(2)自治体と事業者が連携したプラ回収・再商品化の推進 @4F 大会議室1

<テーマ内容>

- プラ回収量を増やす、リサイクル率を向上させるための課題について

<プログラム>

- ・「プラスチック資源循環の推進について」 13:45～13:55 / 14:55～15:05
環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 容器包装・プラスチック資源循環室 牧 佳希

- ・「KOBE PLASTIC NEXT
エコノバ(資源回収ステーション)」
兵庫県神戸市 環境局 資源循環課 課長 井関 和人 13:55～14:05 / 15:05～15:15
- ・「動静脈×官民連携による
プラスチックリサイクルの高度化について」
大栄環境株式会社 経営管理本部システム部/資源循環システムズ株式会社 取締役 瀧屋 直樹 14:05～14:15 / 15:15～15:25
- ・意見交換、全体共有 14:15～14:40 / 15:25～15:50
- ・まとめ 14:40～14:45 / 15:50～15:55

(3)小型家電リサイクル・リチウム蓄電池等の適正処理の推進 @4F 中会議室1

<テーマ内容>

- 使用済み小型家電の回収量を増やし、資源循環を促進するための課題について
- リチウム蓄電池等の分別回収や火災防止対策等の課題について

<プログラム>

- ・「小型家電リサイクル法の最近の動向について」 13:45～13:50 / 14:55～15:00
環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 資源循環制度推進室 小林 勇太
- ・「廃棄物処理施設等におけるリチウム蓄電池に
起因する火災事故を防ぐための取組について」 13:50～13:55 / 15:00～15:05
環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 脱炭素調整係長 國分 綾希子
- ・「小型家電リサイクル回収量拡大に向けた取り組み」 13:55～14:05 / 15:05～15:15
一般社団法人小型家電リサイクル協会 会長 金城 正信
- ・「廃棄物分別特化AIエンジン Raptor VISION」 14:05～14:15 / 15:15～15:25
株式会社PFU 次世代事業開発部 Raptor事業開発部 商品開発課 本江 雅信
- ・意見交換、全体共有 14:15～14:40 / 15:25～15:50
- ・まとめ 14:40～14:45 / 15:50～15:55

(4)サステナブルファッションの推進 @4F 中会議室2

<テーマ内容>

- 各自治体の現状の課題共有と回収後の出口についての意見交換
- 国から提供する情報やツールに関する意見交換

<プログラム>

- ・「サステナブルファッションの推進 13:45～13:55 / 14:55～15:05
ーこれからのファッションを持続可能にー」
環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 田川 怜
- ・「大阪府豊中市における子供服リユース 13:55～14:05 / 15:05～15:15
「おゆずりぐるり」の取組みについて」
特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 事務局長 廣田 学
- ・「京都市の取組(サステナブルファッションの推進等)」 14:05～14:15 / 15:15～15:25
京都府京都市 環境政策局 地球温暖化対策室 吉澤 佑夏
- ・意見交換、全体共有 14:15～14:40 / 15:25～15:50
- ・まとめ 14:40～14:45 / 15:50～15:55

(5-1)下水汚泥資源の肥料利用の推進 @4F 大会議室3 ※第1セッションのみ

<テーマ内容>

- 下水汚泥資源の肥料利用を進めるにあたり必要なことは？
- 自治体・企業として、エンドユーザーに汚泥肥料を使用してもらうために、何をすれば良いと思うか？

<プログラム>

- ・「下水汚泥資源の肥料利用の推進に向けた取組」 13:45～13:55
国土交通省 水管理・国土保全局 上下水道企画課 脱炭素化・資源利用推進室
課長補佐 尾崎 智弘
- ・「資源循環「こうべ再生リン」プロジェクト」 13:55～14:05
兵庫県神戸市 建設局 下水道部 計画課係長 清水 武俊
- ・「循環型社会に向けた下水汚泥肥料の緑地活用
ー 緑化資材のパイオニアとしての取り組みー」 14:05～14:15
富士見工業株式会社 取締役社長室 室長 山本 縁

- ・意見交換、全体共有
- ・まとめ

14:15～14:40

14:40～14:45

(5-2)使用済紙おむつリサイクルの推進 @4F 大会議室3 ※第2セッションのみ

<テーマ内容>

- 使用済み紙おむつのリサイクルを地域で進めるには、何がボトルネックか？
- 紙おむつリサイクルを持続可能にするには、地域のどの事業者と連携できるか？

<プログラム>

- ・「使用済紙おむつの再生利用等の促進に向けた取組について」 14:55～15:05
環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 循環型社会推進室
鳥居 哲也
- ・「使用済紙おむつ再生利用プロジェクト」 15:05～15:15
愛知県蒲郡市 企画部 企画政策課 サークュラーシティ推進室長
羽田野 裕昭
- ・「使用済み紙パンツのリサイクルシステムの実現による
プロダクトライフサイクルを通じた循環型モデルの構築」 15:15～15:25
ユニ・チャーム株式会社 Recycle事業推進室
織田 大詩
- ・意見交換、全体共有 15:25～15:50
- ・まとめ 15:50～15:55

(6)食品ロス削減・食品リサイクルの推進 @5F 大会議室2

<テーマ内容>

- 食品リサイクル・・・食品循環資源のリサイクル率向上に向けた自治体の意義・役割
- 食品ロス・・・フードテックによる食品ロス削減(アップサイクルやフードシェア等)

<プログラム>

- ・「食品リサイクル推進に向けて」 13:45～13:50 / 14:55～15:00
環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 主査 小田戸 聡
- ・「食品ロス削減に向けて」 13:50～13:55 / 15:00～15:05
消費者庁 消費者教育推進課 食品ロス削減推進室 係長 橋本 浩子

- ・「生活者と企業、自治体の共創がひらく、
食品ロス削減の新たな道」
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画グループ サステナビリティ推進室
高橋 諒
13:55～14:05 / 15:05～15:15
- ・「奈良市における給食残さの資源化、
食品ロス削減の取り組み」
奈良県奈良市 環境部 廃棄物対策課長
山森 直人
14:05～14:15 / 15:15～15:25
- ・意見交換、全体共有
14:15～14:40 / 15:25～15:50
- ・まとめ
14:40～14:45 / 15:50～15:55

(7)家庭ごみの分別回収の推進 @5F セミナー室2

<テーマ内容>

- 分散型資源回収拠点の活用にあたり想定される課題
- 分別収集の実施に向けた課題など

<プログラム>

- ・「一般廃棄物の分別収集について」
環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 主査
石井 颯杜
13:45～13:50 / 14:55～15:00
- ・「資源持込型施設「エコドーム」の活用」
岐阜県輪之内町役場 住民環境課
陸田 友彦
13:50～14:00 / 15:00～15:10
- ・「入間市での官民連携による家庭系廃食油の
回収・リサイクル事業」
埼玉県入間市 環境経済部 エコ・クリーン政策課
榎本 寛
14:00～14:10 / 15:10～15:20
- ・「使用済み油の回収及び持続可能な
航空燃料の普及に関する取り組み」
大阪府吹田市 環境部 環境政策室 主幹
和田 亜由美
14:10～14:20 / 15:20～15:30
- ・意見交換、全体共有
14:20～14:40 / 15:30～15:50
- ・まとめ
14:40～14:45 / 15:50～15:55

(8)森林資源の循環利用の推進 @5F 中会議室3

<テーマ内容>

- 企業や地方公共団体で木材利用を進める(始める)ために、消費者や住民へのアピールに有効な項目は何か
- それらのアピールに取り組む、企業や地方公共団体のインセンティブのために必要な要素は何か

<プログラム>

・「森林資源の循環利用の推進(林野庁)」 13:45~13:55 / 14:55~15:05
林野庁 林政部 木材利用課 建築物木材利用促進官 牧野 秀史

・「森林資源の循環利用の推進(京都市)」 13:55~14:05 / 15:05~15:15
京都府京都市 産業観光局 農林振興室 木の文化推進課 課長 小林 仁大

※・「サステナビリティ経営推進における木造取組」 14:05~14:15 / 15:15~15:25
日本生命保険相互会社 不動産部店舗企画室 調査役 奥野 剛司

・意見交換、全体共有 14:15~14:40 / 15:25~15:50

・まとめ 14:40~14:45 / 15:50~15:55

◆ 第3セッション (16:05~17:00) @4F・5F 各会議室

・各テーマごとの意見交換 @4F・5F 各会議室

・スタートアップ企業による革新的な技術やビジネスモデルの紹介

@4F 大会議室3

<プログラム>

・「資源循環市場の創出に向けたスタートアップの活動紹介」

一般社団法人資源循環推進協議会 事務局長 16:10~16:20
笹木 隆之

・「廃石膏ボードの地産地消型資源循環モデル」 16:20~16:30
株式会社GYXUS 代表取締役 平田 富太郎

・「IOTスマートゴミ箱「SmaGO」を、街の”資源循環ステーション”に」 16:30~16:40
株式会社フォーステック 取締役COO 岸 貴義

《第二部 第3セッション》

「廃石膏ボードの地産地消型資源循環モデル」

株式会社GYXUS 代表取締役

平田 富太郎



代表紹介【平田富太郎】



経歴

- 三重県四日市市出身 45歳
- 石膏ボードメーカーチヨダウーテに22年勤務 取締役・専務執行役員
↳ 事業責任者として工場・営業・物流の現場を持続可能にする取り組みを強化
- 石膏ボードリサイクル企業 ギプロ（埼玉県八潮市） 監査役
- 石膏ボードリサイクル企業 トクヤマ・チヨダジブサム 代表取締役
↳ ブライム上場企業トクヤマと世界で初めて石膏ボード水平リサイクル事業に成功
- ↳ 同社は第46回環境賞環境大臣賞、第16回日本LCAフォーラム会長賞、第20回GSC環境大臣賞を受賞する

世界中のリサイクル率を上げる為には、
更なる技術革新が必要だと確信に至り
2023年10月 株式会社 GYXUS を設立

石膏ボードの資源循環は**国家戦略**!?

【石膏ボードとは】

石膏を芯材として、両面をボード用原紙で被覆し板状に成形した建築材料

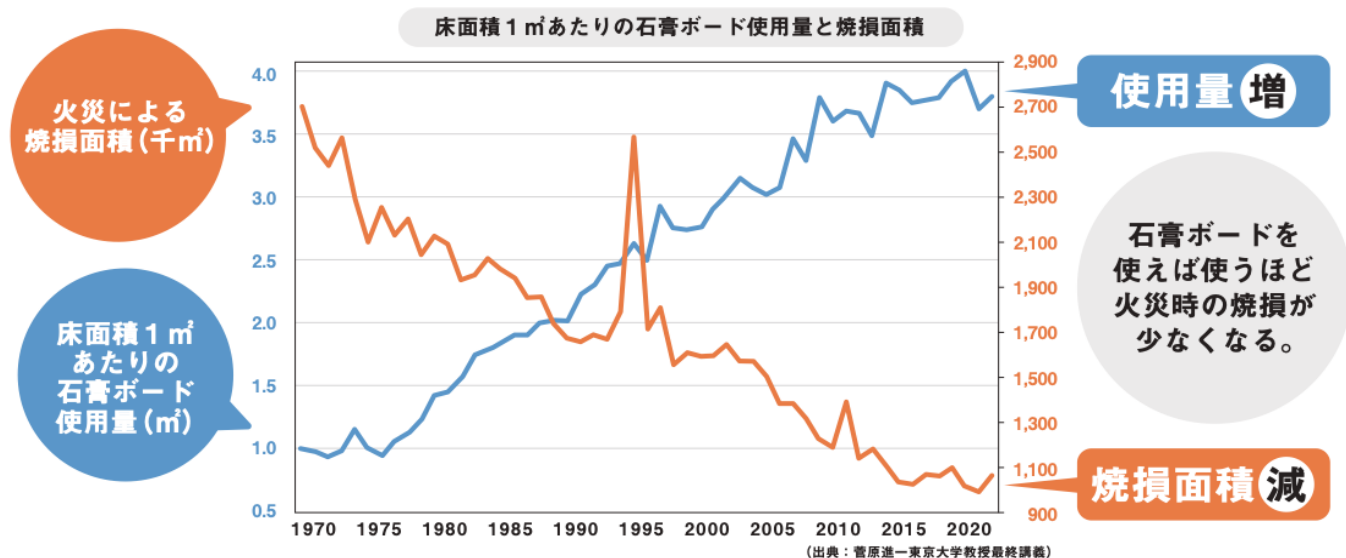
JIS では GB (Gypsum Board) というが、建築図面では PB (Plaster Board)

主に壁、天井に使用され、住宅では 98% 以上使用されている。

防火性、耐火性や遮音性、施工性に優れている。



石膏ボードを使えば、火災発生時の**消失面積が減少**する



※ 1 m²あたりの石膏ボード使用量 (m²)：石膏ボード出荷量 / 建築着工面積

※ 1995 年と 2011 年に焼損面積が増加していますが、これは阪神・淡路大震災及び東日本大震災の影響によるものです。

循環型社会形成推進基本計画

～循環経済を国家戦略に～

令和 6 年 8 月

5.2.4. 土石・建設材料

石膏ボードや建設系廃プラスチックの再資源化、建設資材に関する環境配慮設計等を促進するため、制度の活用等を含め、必要な措置を講じる。

5.2.5. 建築物

(再掲) 石膏ボードや建設系廃プラスチックの再資源化、建設資材に関する環境配慮設計等を促進するため、制度の活用等を含め、必要な措置を講じる。

石膏ボードの現状

石膏ボードの世界市場規模、**150.8 億 m^2 ***

*2023 年地点の数値

石膏ボードの日本市場規模、**約 5 億 m^2**

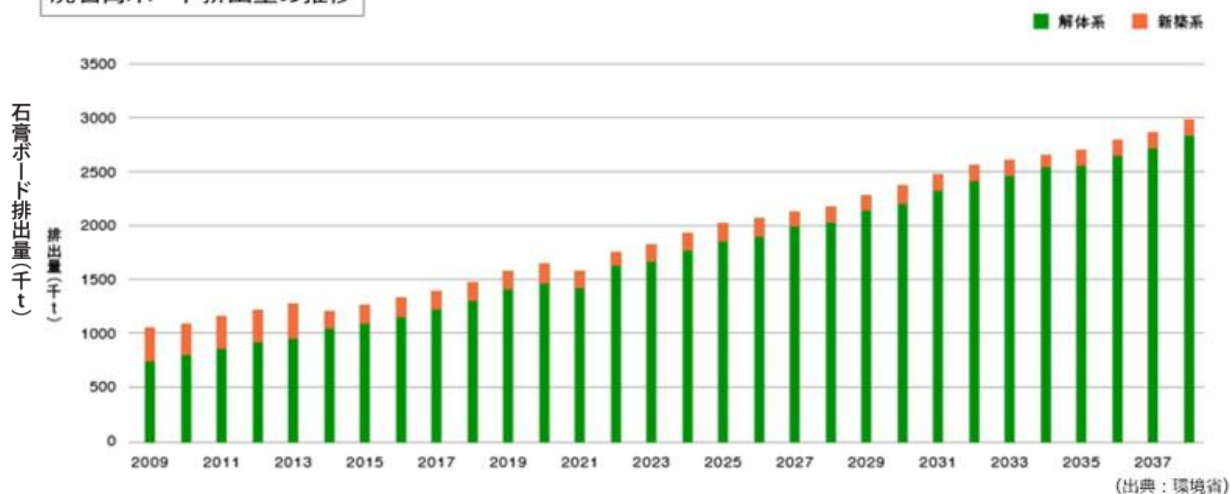
石膏ボードは優れた **耐火性** と **安定供給** で世界中で使用されている。

石膏ボード利用人口は10～15億人（※地球人口80億人のうち）

石膏ボード廃棄物の発生量グラフ

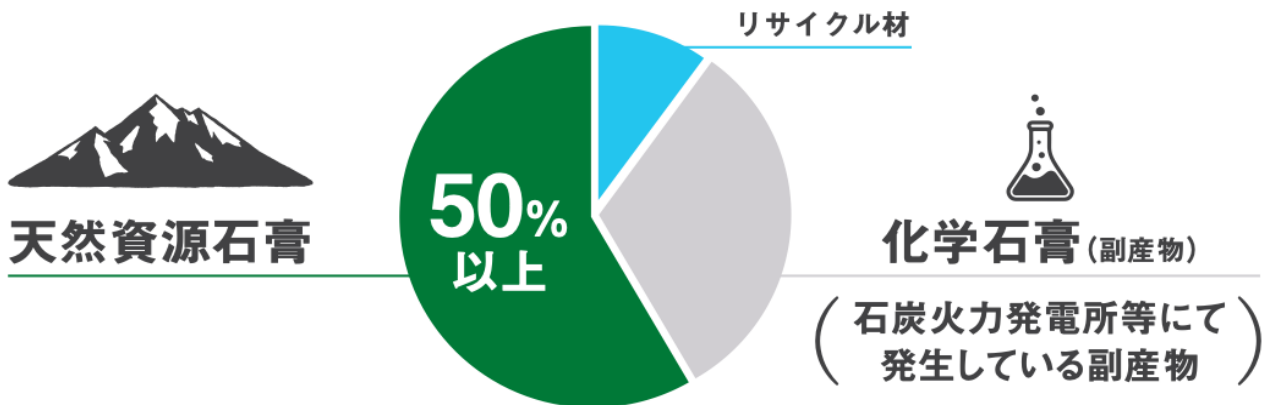
10年後から年間300万トン
埋立処分場を20年程度で埋め尽くす

廃石膏ボード排出量の推移



石膏ボードの現状

世界の石膏ボード原料割合



石膏ボード生産のメインリソースは天然資源＋化学石膏（副産物）

資源制約・リスク Resources Risk

世界のマテリアル需要増大：

多くのマテリアルが将来は枯渇の懸念



石膏ボード利用人口 10 ～ 15 億人

⇒ 今後も継続的に市場が伸びる事が予想されている。

供給が一部の国に集中しているマテリアルあり：

資源国の政策による供給途絶リスク



日本ではタイ・オマーン・メキシコからの輸入が97%

世界の資源採掘量



資源循環

環境

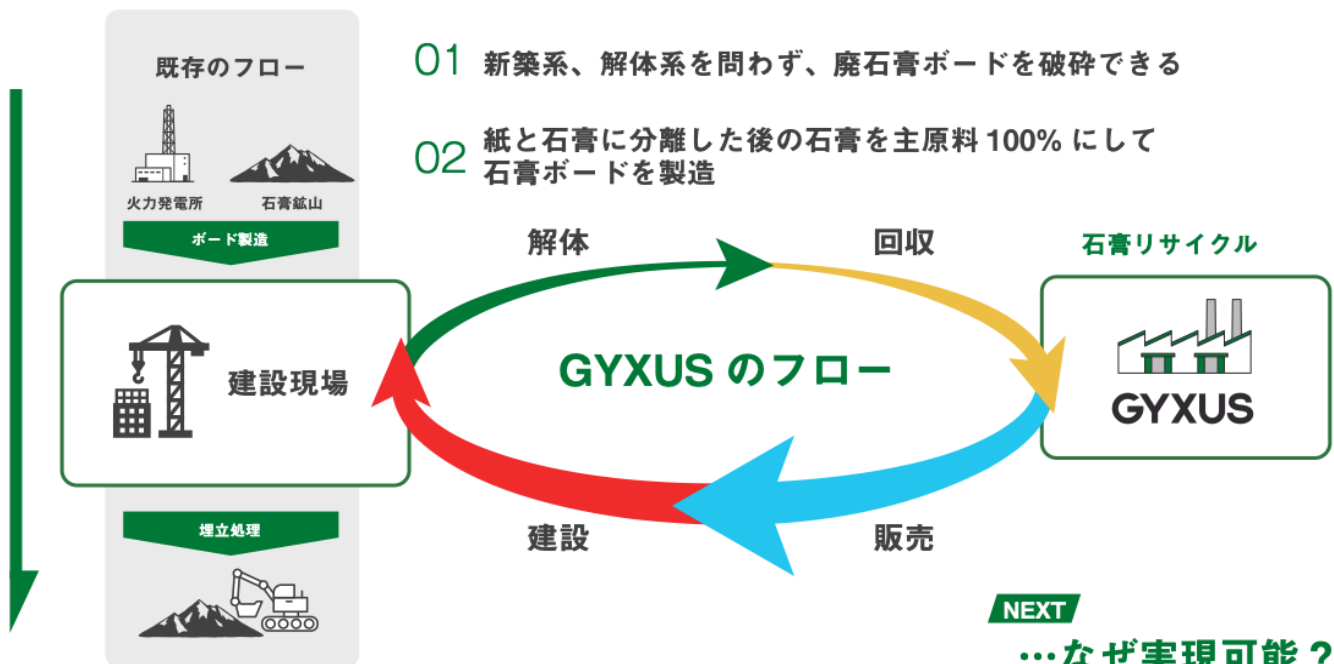
- カーボンニュートラルの実現
- 埋立処分場の延命

経済

- 石膏ボードの安定供給

廃石膏ボードを主原料に石膏ボードを生産する技術は
社会課題を解決する事になる。

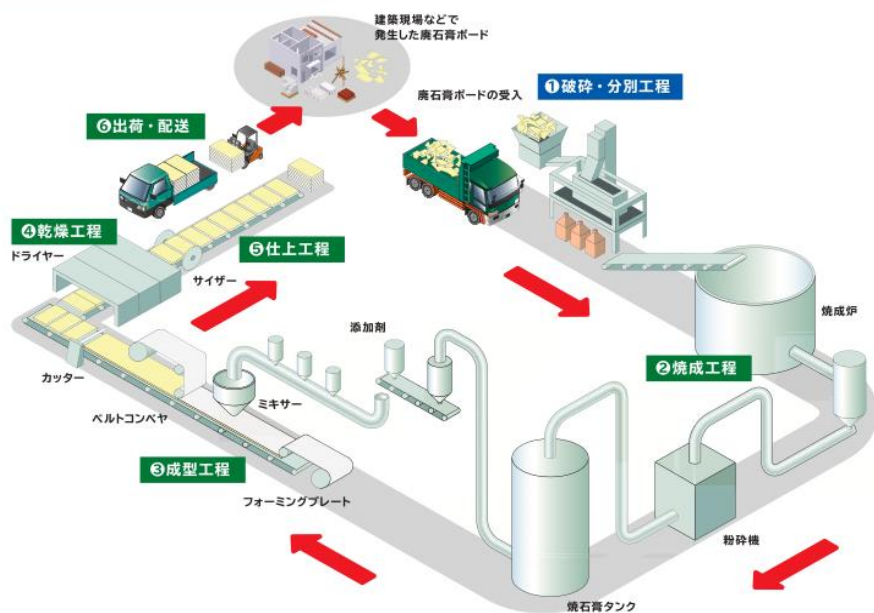
GYXUS の石膏ボード水平リサイクル事業とは



NEXT

…なぜ実現可能? >>>

なぜ GYXUS が実現できるのか



石膏リサイクル工程

- ① 破碎・分別工程
廃石膏ボードを破碎後、石膏粉と紙に分別します。
- ② 焼成工程
原料となる石膏を焼成し、水と反応して固化する焼石膏にします。
- ③ 成型工程
焼石膏を水と混合し、スラリーにした後、表裏原紙でスラリーを挟み込み、板形状や所定の形状にします。
- ④ 乾燥工程
ドライヤー（乾燥機）にてボード中の余剰水分を取り除きます。
- ⑤ 仕上工程
ボードを製品寸法に切断します。
- ⑥ 出荷・配送

「GYXUS CORETECH」を用いて、100%水平リサイクルを可能とした

*一部特許取得の技術もあり

なぜ GYXUS が実現できるのか

POINT 01

成型ベルトコンベアのコンパクト化

	既存の ビジネスモデル	GYXUSの ビジネスモデル
成型ベルト コンベアの長さ	約300m	約70m
成型ベルト コンベアの速度	約100m/分	約4m/分



当社リサイクル工場を上から見た写真

工場のコンパクト化＝生産量を落としている

生産量 **1/40** でも **採算性が取れる** 革新的技術

なぜ GYXUS が実現できるのか

POINT 02

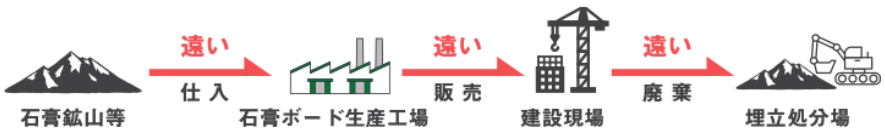
物流のコンパクト化

石膏ボード商品価格
輸送コスト比率

その他、
上場会社5%
窯業建材8%程度

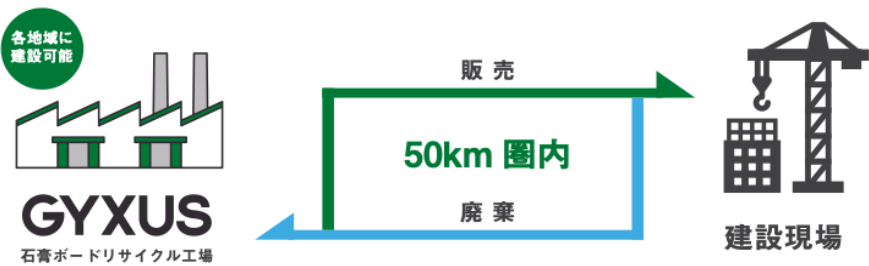
従 来

石膏ボードの輸送距離が原料仕入れから販売時、解体時ともに遠い = 輸送コスト圧迫



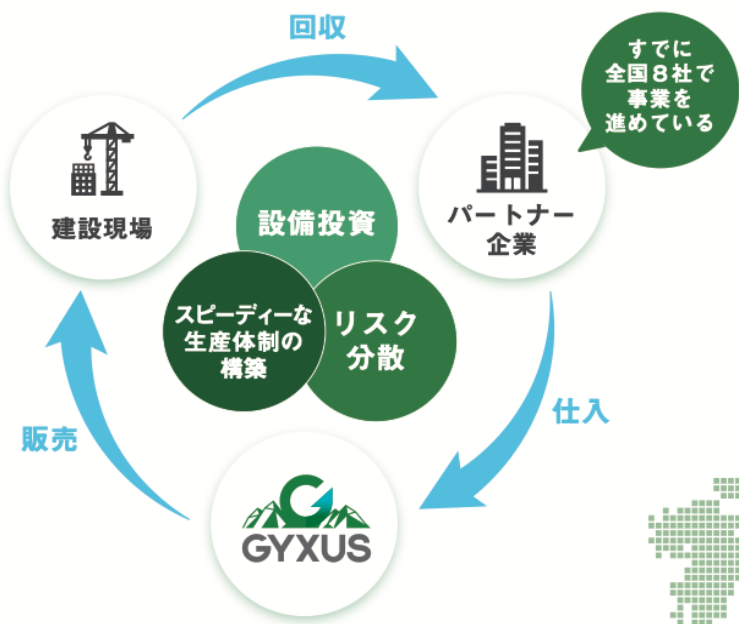
GYXUSの先進的なビジネスモデル

石膏ボードの輸送距離が販売時、解体時ともに近郊配送となる = 輸送コスト軽減



静脈・動脈産業を組み合わせる事で、労働生産性を向上させる

ビジネスプランの継続性・発展性



ビジネスプランの継続性・発展性

ハワイの石膏ボード事情

動脈 アメリカ本土から輸送 = 輸送コスト高

静脈 ハワイに埋立 = 埋立地逼迫

	沖縄	ハワイ
面積	約2,281m ²	約16,634m ²
展開	可能	可能

沖縄で展開可能であれば
ハワイでも展開が可能と考える。
最小単位での展開が可能ということは
世界各地での展開が可能であると見ている。



GYXUS の存在意義

地球に埋めない世界を創る

生産

販売

配送

解体

廃棄

石膏ボードの全てに精通している
GYXUS だからできる

《第二部 第3セッション》

「IOT スマートゴミ箱「SmaGO」を、
街の”資源循環ステーション“に」

株式会社フォーステック 取締役COO
岸 貴義



街ゴミをスマートに管理できる、
次世代の“資源循環ステーション”へ

Forcetek

2025/9/12

／ 会社概要

／ Forcetek

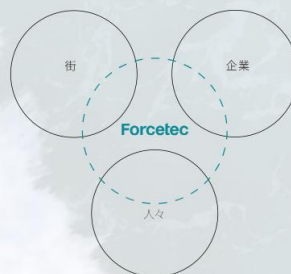
IoTスマートゴミ箱「SmaGO」事業を起点に、街ゴミ・海洋ゴミ問題の解決、資源循環の促進を目指すスタートアップ。

ABOUT US

循環する力を。

限りある自然資源を使い続けるのではなく、
テクノロジーを循環する力に変えて新しい社会の形をつくっていく。
それが、私たちForcetekの存在価値です。

スマートゴミ箱「SmaGO」をはじめとするソリューションで、
想いを共有するさまざまな方々と手を取り合いながら、
持続可能な社会の実現を目指していきます。



必要な場所にSmaGOを設置し、街ゴミ・海ゴミ対策に取り組みながら、将来的には“資源循環の起点”としての役割も果たしていきたいと考えております。

Smart action on the GO.

手を取り合って、日本の街をゴミ箱のある街へ。

環境問題は深刻化が進み、
ひとりひとりの環境への取り組みがもたらされています。

大きな課題の一つ、海洋ゴミ・海洋プラスチックゴミは、
約8割が街から流れ出たものとされています。※
街での適切なゴミ回収・処理の推進は、海洋汚染を食い止める一助となります。
また、観光客の増加などによる「観光公害」など街のゴミ増加も社会課題となっています。

株式会社フォーステックは、ゴミによる社会課題に対して、
世界でも特にゴミ箱が少ない日本の街へSmaGOの設置を通して、
街と企業と人々が一体となって参加できる環境活動を提案します。

※ McKinsey & Company 2015



海洋ゴミの約8割は、街から流れ出た
ものと言われています。

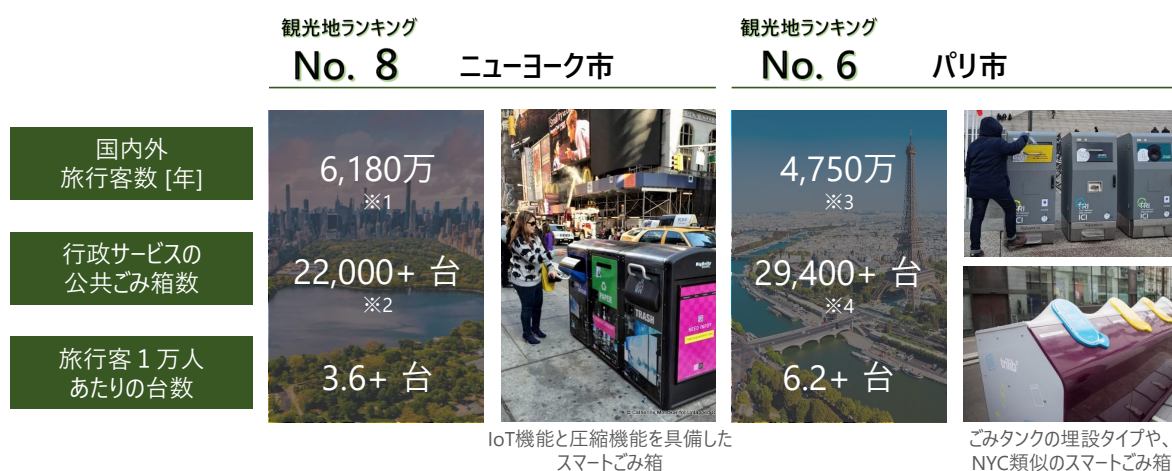
その総量は、2050年には魚の総量を上回ると言われています。

日本では90年代以降、治安対策等の理由からゴミ箱が減少。
 実数は非公開ながらも、**街中のゴミ箱は極めて少ない**現状にあります。



参考：世界の観光先進都市のゴミ箱の現状

旅行者1万人あたりのゴミ箱の数は、ニューヨークは約3.6台、パリは約6.2台。
 世界の観光都市では、行政主導でゴミ対策を通じた景観保全、観光及び暮らしの質の維持に取り組んでいる。



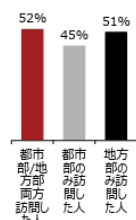
※1 <https://www.traveltrendtoday.in/new-york-city-attracts-61-8-mn-travelers-in-2023-expects-64-5-mn-visitors-in-2024/>

※2 <https://www.timeout.com/newyork/news/ladies-and-gentlemen-new-yorks-new-trash-cans-are-here-091323>

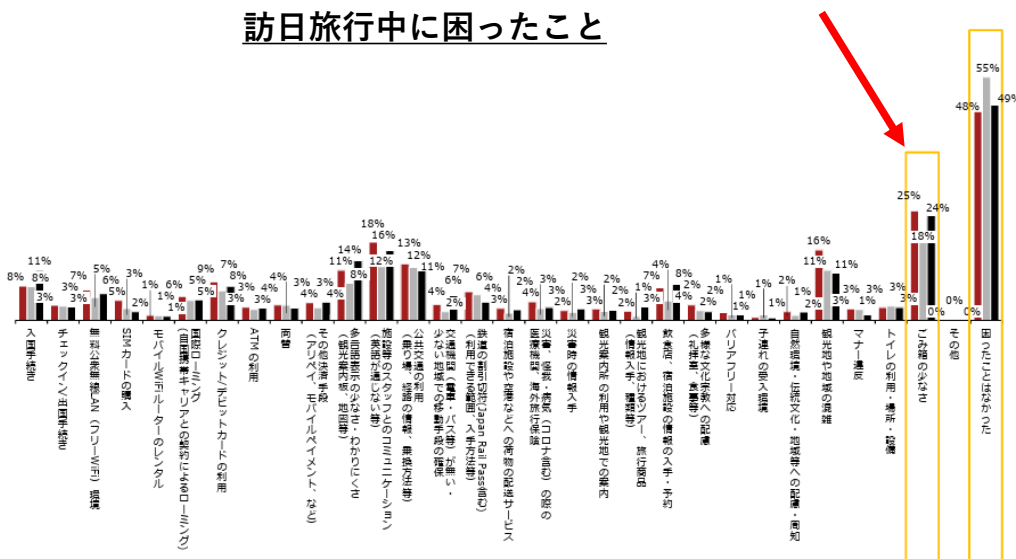
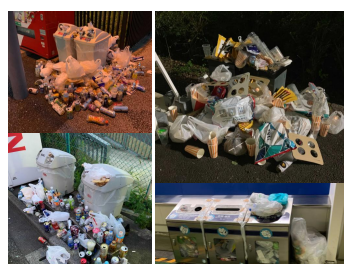
※3 <https://www.statista.com/statistics/1365173/tourist-arrivals-paris-ile-de-france/>

※4 https://www.c40knowledgehub.org/s/article/Cities100-Paris-is-reducing-reusing-and-recovering-its-waste?language=en_US

訪日外国人の「旅行中の困りごと」第1位は、近年一環して「ゴミ箱の少なさ」となっている。



訪日旅行中に困ったこと



出展：観光庁「令和6年度『訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート』調査結果」より抜粋

©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved.



スマートゴミ箱「SmaGO」 | 海をゴミ箱にしない。そう決めたゴミ箱。(Short ver.)

©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved.

街中の公共スペースや商業施設に設置することで、効率的なゴミ回収、分別の促進、美観維持を実現。筐体を広告メディアとして企業様にご協賛いただくことで導入コスト・運用コストを賄う。



©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved.

3年目を迎える本プロジェクトは、ゴミを正しく捨てることから始まる、循環型社会の実現に向けた新しいチャレンジ。設置主である原宿表参道櫓会様、スポンサーである日本特殊陶業様、障がいのあるアーティストのアート事業を展開するヘラルボニー様と協働で、「街中のゴミ箱アートギャラリー」をコンセプトに四季折々のアートラッピングで展開。



表参道駅から原宿駅までの道沿いに13箇所34台を設置。

2023年4月1日より本格運用を開始。

広告主：日本特殊陶業株式会社様
設置主：原宿表参道櫓会様

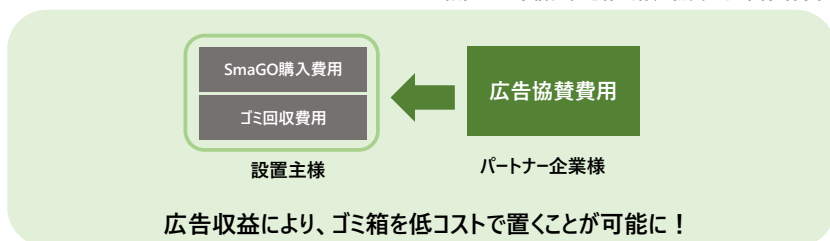


ゴミ溢れやポイ捨てゴミの課題を解消。

SmaGOを「**屋外広告メディア**」として運用することで、
ゴミ箱設置にかかるコストの削減を実現しています。



設置主：原宿表参道櫛会様／協賛：日本特殊陶業様



企業から京都市に対し、企業版ふるさと納税を活用してSmaGOを寄付（寄贈）いただくスキームを活用して、
観光スポット等に順次設置。

スマートゴミ箱、京都・八坂神社前に設置 市内5カ所目

詳細 [+ フォローする](#)
2024年9月6日 17:06

📷 保存

📧 📧 📧 📧 📧 📧



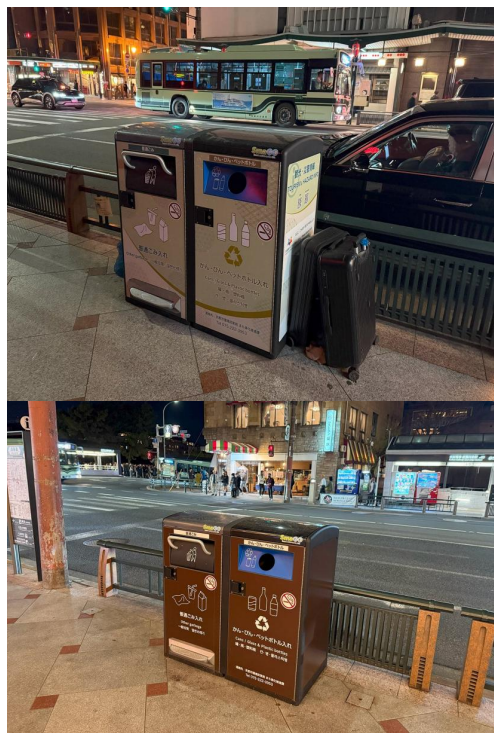
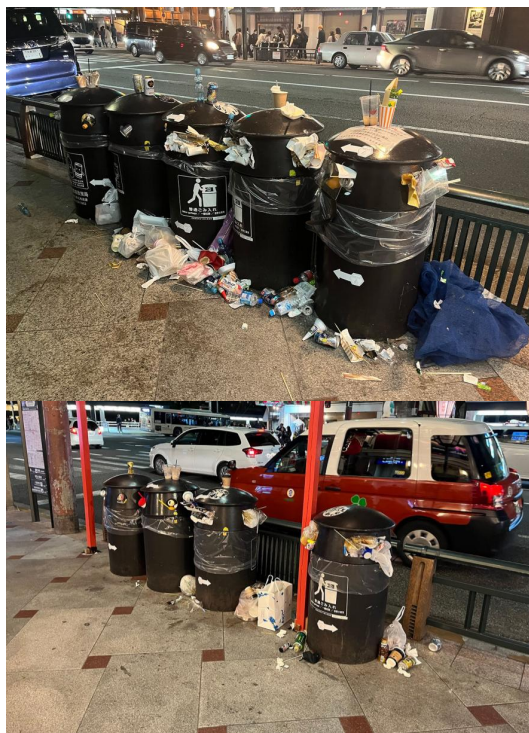
八坂神社前に設置されたスマートゴミ箱（6日、京都市）

京都市は6日、インバウンド（訪日外国人）を含む観光客が集まる八坂神社の前に通信機能を備えた「スマートゴミ箱」を2台設置した。同タイプのゴミ箱を設けるのは市内で5カ所目。遠隔でゴミの量を確認でき、一定量がたまると自動で5分の1ほどに圧縮する。滋賀県の廃棄物処理会社、木下カンゼー（大津市）から寄贈を受けた。

このゴミ箱はフォーステック（東京・千代田）が販売する「SmaGO（スマゴ）」。
上部のソーラーパネルで発電する。

設置の式典に出席した松井孝治市長は「こうした新技術を生かして地域と共に美しい街をつくりたい」と述べた。木下カンゼーの木下昌秀社長は「紙面のすばらしい景観を後世に残したい」と話した。同社は2022年度からスマートゴミ箱の京都市への寄贈を続けており、10年間で計24台を引き渡す計画だ。





©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved. 13

環境省「ごみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業」に採択され、宮島の旅客ターミナル施設前に設置。官民連携で観光客によるポイ捨て・置き捨てごみの発生抑止と3R（リサイクル・リユース・リデュース）を推進する取り組み。

世界遺産・宮島でIoTスマートごみ箱「SmaGO」を活用した宮島のごみ対策に係るモデル事業を開始

～デジタルによる「仕掛け」で、観光客の行動変容を促しオーバーツーリズムによるごみ問題を解決～

廿日市市 2024年8月9日 15時00分



廿日市市＜市長：松本 太郎（まつもと たろう）＞、広島県＜知事：堀内 英彦（ゆさき ひでひこ）＞、BIPROGY株式会社＜代表取締役社長：青藤 晃（あきとう）のぼる＞以下、BIPROGY＞、一般社団法人全国清潔対策連合会（＜会長：本庄 大介（ほんじょう だいすけ）＞以下、全国清潔対策連合会）は、世界遺産である宮島とその玄関口である宮島口において、環境保全と観光振興の両立に向けたモデル事業を2024年8月8日から開始しました。

本事業は、IoTスマートごみ箱「SmaGO」を活用して、観光客によるポイ捨て・置き捨てごみの発生抑止とリサイクル（再利用率）、リユース（再使用）、リデュース（発生抑制）の3Rを推進する取り組みです。デジタルによる仕掛けで観光客の行動変容を促し、オーバーツーリズムによるごみ問題を解決していきます。

※本事業は環境省のモデル採択事業に2024年5月17日に採択されています。

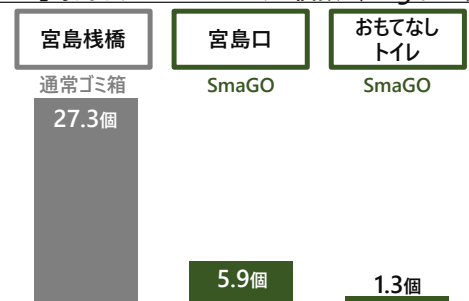


「ゴミの散乱抑制」「異物混在率の低下」に大きく寄与。

ゴミの散乱、鹿がゴミを漁って食べてしまうといった課題に対し
SmaGOを設置



「カン・ビン」専用ボックスへのプラカップ個数（10kgあたり）



本実証を経て本年4月より本格導入を決定。
回収費用は宮島訪問税から拠出。

©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved. 15

東北

宮城県 あ・ら・伊達な道の駅

中部

愛知県 名古屋 Hisaya-odori Park

山梨県 富士吉田市

関西

京都市

大阪府道頓堀

神戸市

中国

広島県 広島市/尾道市

広島県 廿日市市 宮島

北海道

札幌市 BiVi新さっぽろ

札幌市 丸山動物園

九州

福岡県 ららぽーと福岡

熊本県 熊本動物園

関東

東京都 原宿・表参道

東京都 渋谷 MIYASHITA PARK

神奈川県 横浜市横浜駅西口

群馬県 渋川市 伊香保温泉

東京都 東京ドームシティ

東京都 築地市場 場外

自治体や商業施設様を中心に

全国 約60カ所 約 **600** 台

※世界60カ国以上においては100,000台が導入済

回収した資源を活用してアップサイクルを実現した取組みも、推進しています。

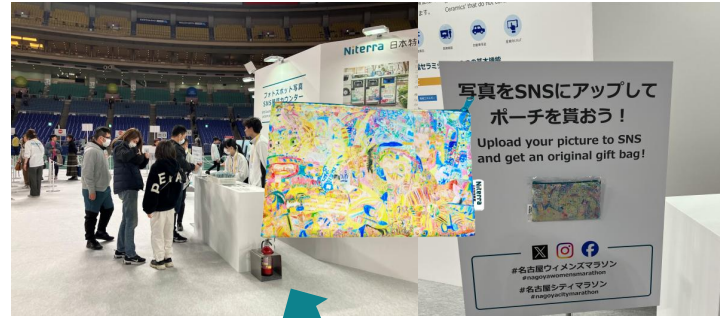
■ K・バレエカンパニー様によるペットボトルのアップサイクル

表参道のSmaGOで回収したペットボトル10,000本を
ドラマチック・バレエの舞台装飾として再生活用



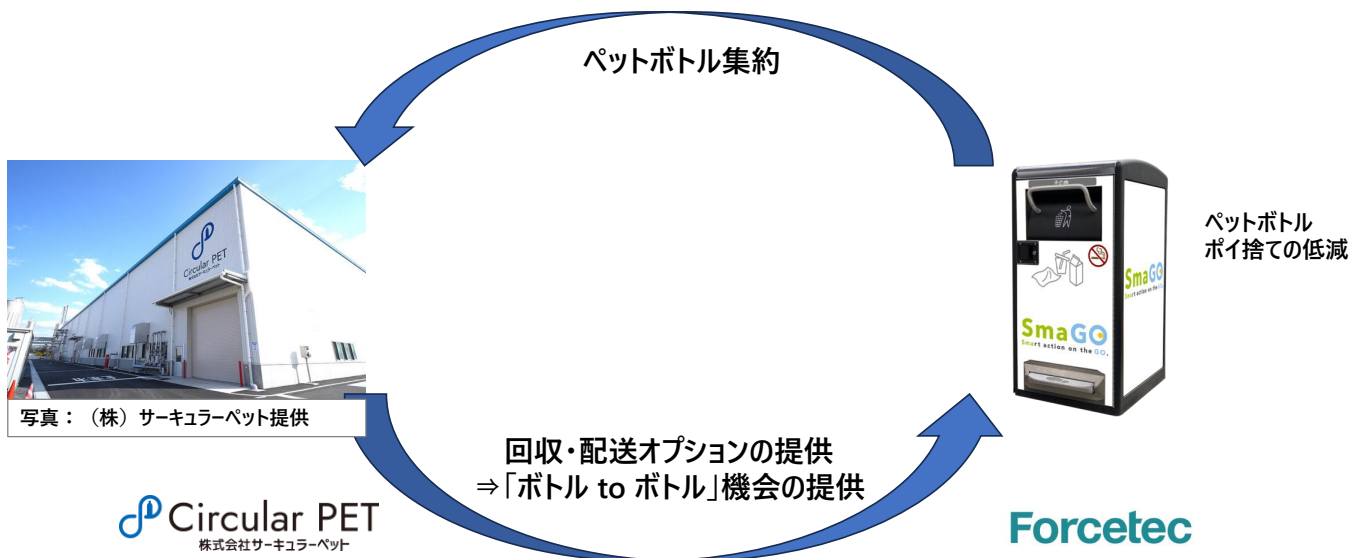
■ 日本特殊陶業様によるペットボトルのアップサイクル

表参道のSmaGOで回収したペットボトルを一部活用し、ポーチを製作。
同社協賛イベントである名古屋ウィメンズマラソンでノベルティとして参加者に配布。



©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved. 17

サーキュラーペット社との連携により、ペットボトルのさらなる集約、水平リサイクルを推進する協議を進めております。



©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved. 18

25年1月、TBM社と戦略的業務提携を締結。
環境配慮型素材「LIMEX」を素材としたゴミ袋の普及に向けた協働など、サーキュラー・エコノミーの推進を加速化。

TBMとフォーステック、サーキュラー・エコノミーの実現に向けた戦略的業務提携を開始

～IoTスマートゴミ箱「SmaGO」に環境配慮型素材LIMEXを使用、相互送客による販売連携～

フォーステック 2025年1月16日 10時00分

♡ 2 | X | F | G | S | E

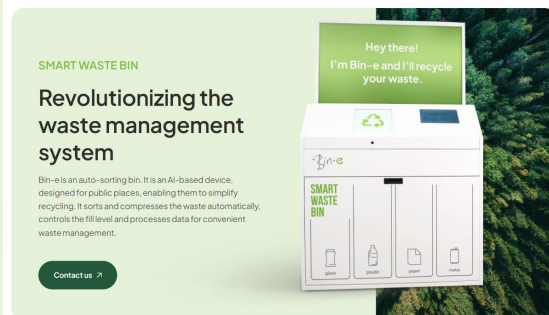
環境配慮型素材「LIMEX（ライメックス）」の開発や資源循環ビジネスを展開する株式会社TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：山崎敦義、以下TBM）と、IoTスマートゴミ箱「SmaGO（スマゴ）」の設置に取り組む株式会社フォーステック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：竹村陽平、以下フォーステック）は、サーキュラー・エコノミー（循環経済）の実現に向けた戦略的業務提携を開始したことをお知らせします。

本業務提携に伴い、「SmaGO」のラッピングシートやゴミ袋に環境配慮型素材LIMEXを使用する他、両社は強固なパートナーシップを築くことにより、相互送客や製品の代理販売などを通じて、営業効率を高めることで双方の事業スピードを加速させます。社会的課題になっている資源保全、廃棄物の資源循環を推進するとともに、事業や普及啓発を通じた社会的課題の解決への貢献、脱炭素社会の実現に向けて、具体的に取り組めます。



©2025 FORCETEC Inc. All Rights Reserved. 19

近日、ポーランド発のAIリサイクルボックス「Bin-e（ビンイー）」を取扱い開始予定。
投入口にゴミ（資源）を投げ込むと、内部でAI検知によって自動分別する機能を有しており、
資源回収⇒循環の取組の起点として活用。



分別回収の促進

- ・資源物をAI検知で自動分別
- ・サイネージを活用した環境効果の可視化、分別マナー向上、行動変容の促進

資源循環の促進

- ・飲料メーカー等との提携によるペットボトルの水平リサイクル促進
- ・ものづくりパートナー企業との提携によるリサイクル/アップサイクル商品の新規開発

“資源循環ステーション”としてのSmaGOを次世代の社会インフラとして全国に普及させ、
街中のポイ捨てゴミ、街から流出する海洋ゴミをゼロにする社会、
ゴミをゴミと呼ばずに資源に変える社会を目指す。
“資源循環立国”の新たなスタンダードを日本から創りあげる。





Plastics
Smart